

第1回 Zoom を活用したオンラインで研究会を開催して

4月25日に、令和2年度第1回の研究会を開催しました。県内外（東京を含め）27人の方々と議論をいたしました。

前半は、学校休業中の中で児童・生徒にどんな学習をさせたらよいか。

後半は、学校がはじまった後の、具体的な授業について。

学び合いにはひそひそ・こそこそ自由性が必要なことが確認できました。それを実現する装置となるホワイトボードや糸電話的など、もの（装置）が必要なことも確認できました。

また、入力の際に『書く行為』というのは、“ひそひそ・こそこそ”が出にくい行為になるかもしれないということもわかりました。俗に言う、発表会の会話構造にならないようにするためには”落書き”的な行為等、児童・生徒の自由さの中にこそ意味を見出す大切さが今後必要ではないかという議論となりました。

研究会参加希望の方は、ここにメールをください。

shinyatk1616n@yahoo.co.jp